

W0. Introduction

W0.1

(W0.1) Give a general description of and introduction to your organization.

Santenは、眼科に特化したスペシャリティ・カンパニーとして、医療用・一般用の医薬品や、医療機器の研究、開発、販売、マーケティング活動を行っており、世界約60を超える国・地域で製品を販売しています。Santenが目指す理想の世界「WORLD VISION」の実現に向け、世界中の技術や組織、人材をつなぎ、「見る」を通じて人々の幸せを実現するSocial Innovatorとして、眼の疾患や不具合に起因する世界中の人々の社会的・経済的な機会損失を削減することを目指します。130年を超える歴史の中で知使われた科学的知見や企業力を活かし、製薬企業としての枠を超え、患者さん起点で眼科医療ソリューションの開発と提供に取り組み、価値ある製品・サービスの提供を通じ、患者さんや患者さんを愛する人たちを中心に社会への貢献を果たしていきます。2023年4月に新中期経営計画（2023~2025年度）を発表し、Santenの強みである医療用医薬品事業の最大化に注力するとともに、医療用医薬品事業における生活者・患者様への貢献価値最大化に向けて、戦略・組織運営体制を抜本的に見直しています。Santenは社会の持続的な発展に貢献するとともに、中長期的な価値向上を目指しています。2020年に経営の重要課題であるマテリアリティを特定し、目標を設定してそれぞれの活動を推進しています。また、新中期経営計画の策定に合わせ、従来の13の課題（マテリアリティ）について、その内容を再整理し、優先順位を検討しました。特に重要な課題として「社会的意義のある製品の市場浸透」と「人材の育成・登用」の2つを特定しています。また、グローバルで環境保全を推進しており、2050年に向けた環境ビジョン「Santen Vision for the Earth 2050」を策定し、CO2排出量削減など2030年環境目標を設定し、気候変動対策と環境負荷低減に取り組んでいます。2023年3月期の連結売上高は279,037百万円、営業損失として-3,090百万円を計上しました。

W0.2

(W0.2) State the start and end date of the year for which you are reporting data.

	Start date	End date
Reporting year	April 1 2022	March 31 2023

W0.3

(W0.3) Select the countries/areas in which you operate.

China
Japan

W0.4

(W0.4) Select the currency used for all financial information disclosed throughout your response.

JPY

W0.5

(W0.5) Select the option that best describes the reporting boundary for companies, entities, or groups for which water impacts on your business are being reported.

Companies, entities or groups over which financial control is exercised

W0.6

(W0.6) Within this boundary, are there any geographies, facilities, water aspects, or other exclusions from your disclosure?

Yes

W0.6a

(W0.6a) Please report the exclusions.

Exclusion	Please explain
蘇州工場（中国）を除く、海外オフィス・海外子会社については除外しています	Santenは能登工場・滋賀プロダクトサプライセンター、蘇州工場を主要生産拠点としています。有価証券報告書の「関係会社の状況」にて「製造」事業を有する関係会社において、重慶参天科瑞製薬有限公司、サンテン・ファーマシューティカル・アジア・プライベート・リミテッド（シンガポール）、サンテン・エスエー（スイス）、アドバンスド・ビジョン・サイエンス・インク（米国）、インフォーカス・インク（米国）の製造実績が全体に占める割合は僅少であるため、集計対象外としています。また、海外オフィスについても同様に全体に占める割合が小さいため、集計に含めていません。

W0.7

(W0.7) Does your organization have an ISIN code or another unique identifier (e.g., Ticker, CUSIP, etc.)?

Indicate whether you are able to provide a unique identifier for your organization.	Provide your unique identifier
Yes, a Ticker symbol	4536

W1. Current state

W1.1

(W1.1) Rate the importance (current and future) of water quality and water quantity to the success of your business.

	Direct use importance rating	Indirect use importance rating	Please explain
Sufficient amounts of good quality freshwater available for use	Vital	Vital	直接的使用において、当社主力製品の点眼剤は製品成分として淡水の十分な量と良質な水の確保が叶わなければ主要な収益源である点眼剤の製造に甚大な影響を被ります。また、製造工程でも法規制で厳格に定められた品質・規格に適合させるために機器洗浄に一定の質と量の水を必要とします。さらに製造現場においても法規制で定められた室温・温度に保つために一定の冷却水を必要とします。間接的使用においても同様に、取引先が当社製品の原材料を製造する工程において一定の量と質の水を必要であり、事業の継続に大きな影響を与えるため「操業に不可欠である」を選択しました。
Sufficient amounts of recycled, brackish and/or produced water available for use	Not important at all	Not important at all	医薬品に使用される水は厳格な法規制により不純物の少ない高品質が求められます。リサイクル水や汽水、随伴水などは、高品質な純度の担保が非常に困難であるため、利用することは考慮されていません。したがって薬品製造プロセスにおいて直接的にも間接的にも再生水や塩水は利用し操業することがないため「全く重要でない。」を選択しました。

W1.2

(W1.2) Across all your operations, what proportion of the following water aspects are regularly measured and monitored?

	% of sites/facilities/operations	Frequency of measurement	Method of measurement	Please explain
Water withdrawals – total volumes	100%	Continuously	取水量流量計	日本国内の能登工場、滋賀プロダクトサプライセンター、奈良研究開発センター、中国の蘇州工場の4施設全てで測定・モニタリングしています。各事業場の管理担当者が、取水量流量計の測定値を記録します。記録されたデータは月次で集計し、各サイトの管理者へ報告されます。これらの月次データを基に各サイトは年次で本社の事務局へ年間の取水量を報告しています。
Water withdrawals – volumes by source	100%	Continuously	水源別の取水量流量計	日本国内の能登工場、滋賀プロダクトサプライセンター、奈良研究開発センター、中国の蘇州工場の4施設全てで測定・モニタリングしています。各事業場の管理担当者が、水源別の取水量流量計の値を記録します。記録されたデータは月次で集計し、各サイトの管理者へ報告されます。これらの月次データを基に各サイトは年次で本社の事務局へ年間の水源別取水量を報告しています。
Entrained water associated with your metals & mining and/or coal sector activities - total volumes [only metals and mining and coal sectors]	<Not Applicable>	<Not Applicable>	<Not Applicable>	<Not Applicable>
Produced water associated with your oil & gas sector activities - total volumes [only oil and gas sector]	<Not Applicable>	<Not Applicable>	<Not Applicable>	<Not Applicable>
Water withdrawals quality	100%	Monthly	水源別サンプルによる水質検査	日本国内の能登工場、滋賀プロダクトサプライセンター、奈良研究開発センター、中国の蘇州工場の4施設全てで測定・モニタリングしています。各事業場の管理担当者が、水源別にサンプルを取り水質を検査します。検査結果の記録は月次で、各サイトの管理者へ報告されます。これらの月次報告を基に各サイトは年次で本社の事務局へ水源別の水質について製造に要する際に問題がないかを報告しています。
Water discharges – total volumes	100%	Continuously	排水量流量計	日本国内の能登工場、滋賀プロダクトサプライセンター、奈良研究開発センターの4施設全てで測定・モニタリングしています。各事業場の管理担当者が、流量計にて排水量の値を記録しています。記録されたデータは月次で集計し、各サイトの管理者へ報告されます。これらの月次データを基に各サイトは年次で本社の事務局へ年間の排水量を報告しています。
Water discharges – volumes by destination	100%	Continuously	排水量流量計	日本国内の能登工場、滋賀プロダクトサプライセンター、奈良研究開発センターの4施設全てで測定・モニタリングしています。各事業場の管理担当者が、流量計にて排水量の値を記録しています。記録されたデータは月次で集計し、各サイトの管理者へ報告されます。これらの月次データを基に各サイトは年次で本社の事務局へ年間の排水量を報告しています。
Water discharges – volumes by treatment method	100%	Continuously	排水量流量計	日本国内の能登工場、滋賀プロダクトサプライセンター、奈良研究開発センターの4施設全てで測定・モニタリングしています。各事業場の管理担当者が、流量計にて排水量の値を記録しています。記録されたデータは月次で集計し、各サイトの管理者へ報告されます。これらの月次データを基に各サイトは年次で本社の事務局へ年間の排水量を報告しています。
Water discharge quality – by standard effluent parameters	100%	Monthly	排水先別サンプルによる水質検査	日本国内の能登工場、滋賀プロダクトサプライセンター、奈良研究開発センター、中国の蘇州工場の4施設全てで測定・モニタリングしています。各事業場の管理担当者が、排水先ごとにサンプルを取り水質を検査します。検査結果の記録は月次で、各サイトの管理者へ報告されます。これらの月次報告を基に各サイトは環境法令、地域ごとの条例に抵触しないかを確認し、年次で本社の事務局へ排水水質についてコンプライアンス違反がないかを報告しています。
Water discharge quality – emissions to water (nitrates, phosphates, pesticides, and/or other priority substances)	100%	Monthly	排水先別サンプルによる水質検査	日本国内の能登工場、滋賀プロダクトサプライセンター、奈良研究開発センター、中国の蘇州工場の4施設全てで測定・モニタリングしています。各事業場の管理担当者が、排水先ごとにサンプルを取り水質を検査します。検査結果の記録は月次で、各サイトの管理者へ報告されます。これらの月次報告を基に各サイトは環境法令、地域ごとの条例に抵触しないかを確認し、年次で本社の事務局へ排水水質についてコンプライアンス違反がないかを報告しています。
Water discharge quality – temperature	100%	Monthly	排水先別サンプルによる水質検査	日本国内の能登工場、滋賀プロダクトサプライセンター、奈良研究開発センター、中国の蘇州工場の4施設全てで測定・モニタリングしています。各事業場の管理担当者が、排水先ごとにサンプルを取り水温を検査します。検査結果の記録は月次で、各サイトの管理者へ報告されます。これらの月次報告を基に各サイトは環境法令、地域ごとの条例に抵触しないかを確認し、年次で本社の事務局へ排水水質についてコンプライアンス違反がないかを報告しています。
Water consumption – total volume	100%	Continuously	取水量および排水量流量計の差分	日本国内の能登工場、滋賀プロダクトサプライセンター、奈良研究開発センターの4施設全てで測定・モニタリングしています。水消費量については取水量から排水量を減じて算出しており、各事業場の管理担当者は月次で取水量及び排水量データを基に水消費量を算出し、各サイトの管理者へ報告します。これらの月次データを基に各サイトは年次で本社の事務局へ年間の水消費量を報告しています。
Water recycled/reused	Not monitored	<Not Applicable>	<Not Applicable>	製造プロセスにおいて水の循環利用・再利用・カスケード利用などは行っていますが、取水量および排水量の管理のみ行い現時点においてリサイクル水の定期的な測定・モニタリングには至っていません。
The provision of fully-functioning, safely managed WASH services to all workers	100%	Continuously	調査・確認	日本国内の能登工場、滋賀プロダクトサプライセンター、奈良研究開発センター、中国の蘇州工場の4施設全てで測定・モニタリングしています。各事業場の管理担当者が、安全かつ衛生的な上下水インフラが提供されていることを調査・確認しています。調査結果は、各サイトの管理者へ報告されます。これらの結果を基に各サイトは年次で本社の事務局へ従業員のWASHサービスの提供状況を報告しています。

W1.2b

(W1.2b) What are the total volumes of water withdrawn, discharged, and consumed across all your operations, how do they compare to the previous reporting year, and how are they forecasted to change?

	Volume (megaliters/year)	Comparison with previous reporting year	Primary reason for comparison with previous reporting year	Five-year forecast	Primary reason for forecast	Please explain
Total withdrawals	612	Higher	Facility expansion	Higher	Facility expansion	日本国内の能登工場、滋賀プロダクトサプライセンター、奈良研究開発センターおよび中国の蘇州工場の4施設の数値です。滋賀プロダクトサプライセンターにおいては2022年10月に新棟が竣工し、生産量が増加したため、取水量が増加しています。今後も製造施設の強化を検討していることから、総取水量が増加する可能性があります。
Total discharges	543	Higher	Facility expansion	Higher	Facility expansion	日本国内の能登工場、滋賀プロダクトサプライセンター、奈良研究開発センターおよび中国の蘇州工場の4施設の数値です。滋賀プロダクトサプライセンターにおいては2022年10月に新棟が竣工し、その立ち上げに伴う活動量が増加したため、排水量が増加しています。今後も製造施設の強化を検討していることから、総排水量が増加する可能性があります。
Total consumption	69	About the same	Investment in water-smart technology/process	About the same	Investment in water-smart technology/process	日本国内の能登工場、滋賀プロダクトサプライセンター、奈良研究開発センターおよび中国の蘇州工場の4施設の数値です。使用する水が最大限リサイクルできるよう、効率的な水使用のための技術・プロセスに投資していることから、取水量に伴って排水量も増加するため、消費量は同程度で推移する見込みです。

W1.2d

(W1.2d) Indicate whether water is withdrawn from areas with water stress, provide the proportion, how it compares with the previous reporting year, and how it is forecasted to change.

Row	No	Withdrawals are from areas with water stress	% withdrawn from areas with water stress	Comparison with previous reporting year	Primary reason for comparison with previous reporting year	Five-year forecast	Primary reason for forecast	Identification tool	Please explain
Row 1	No	<Not Applicable>	<Not Applicable>	<Not Applicable>	<Not Applicable>	<Not Applicable>	<Not Applicable>	WRI Aqueduct WWF Water Risk Filter	工場や研究所ごとに、立地地域の水源の希少性（水ストレス）を評価しており、日本国内の能登工場、滋賀プロダクトサプライセンター、奈良研究開発センターおよび中国の蘇州工場を含むすべての製造サイトについて、水ストレス下にある地域にないことを確認しています。

W1.2h

(W1.2h) Provide total water withdrawal data by source.

	Relevance	Volume (megaliters/year)	Comparison with previous reporting year	Primary reason for comparison with previous reporting year	Please explain
Fresh surface water, including rainwater, water from wetlands, rivers, and lakes	Not relevant	<Not Applicable>	<Not Applicable>	<Not Applicable>	適切な取水源が存在していないことから取水を実施していません。
Brackish surface water/Seawater	Not relevant	<Not Applicable>	<Not Applicable>	<Not Applicable>	適切な取水源が存在していないことから取水を実施していません。
Groundwater – renewable	Relevant	321	About the same	Maximum potential volume reduction already achieved	日本国内の能登工場、滋賀プロダクトサプライセンター、奈良研究開発センターおよび中国蘇州工場の4施設の数値です。当社の主な製品は点眼剤であり、良質な水の確保を必要とします。製造工程でも法規制等で厳格に定められた品質・規格に適合させるために機器洗浄に一定の質と量の水を必要とし、さらに製造現場においても法規制で定められた室温・温度に保つために一定の冷却水を必要とします。地下水を主に用いている能登工場においては、生産工場の規模に大きな変動がなく、前期比での取水量があまり変化しませんでした。
Groundwater – non-renewable	Not relevant	<Not Applicable>	<Not Applicable>	<Not Applicable>	適切な取水源が存在していないことから取水を実施していません。
Produced/Entrained water	Relevant	142	Much higher	Facility expansion	日本国内の能登工場、滋賀プロダクトサプライセンター、奈良研究開発センターおよび中国蘇州工場の4施設の数値です。当社の主な製品は点眼剤であり、良質な水の確保を必要とします。製造工程でも法規制等で厳格に定められた品質・規格に適合させるために機器洗浄に一定の質と量の水を必要とし、さらに製造現場においても法規制で定められた室温・温度に保つために一定の冷却水を必要とします。滋賀プロダクトサプライセンターにおいては2022年10月に新棟が竣工し、その立ち上げに伴う活動量が増加したため、取水量が増加しました。
Third party sources	Relevant	149	Higher	Facility expansion	日本国内の能登工場、滋賀プロダクトサプライセンター、奈良研究開発センターおよび中国蘇州工場の4施設の数値です。当社の主な製品は点眼剤であり、良質な水の確保を必要とします。製造工程でも法規制等で厳格に定められた品質・規格に適合させるために機器洗浄に一定の質と量の水を必要とし、さらに製造現場においても法規制で定められた室温・温度に保つために一定の冷却水を必要とします。滋賀プロダクトサプライセンターにおいては2022年10月に新棟が竣工し、その立ち上げに伴う活動量が増加したため、取水量が増加しました。

W1.2i

(W1.2i) Provide total water discharge data by destination.

	Relevance	Volume (megaliters/year)	Comparison with previous reporting year	Primary reason for comparison with previous reporting year	Please explain
Fresh surface water	Not relevant	<Not Applicable>	<Not Applicable>	<Not Applicable>	淡水の地表水への排水がないことを各拠点の担当者からの報告により本社事務局にて確認しています。このため、地表水への排水は行われておらず、当社に関連性はありません。
Brackish surface water/seawater	Relevant	286	About the same	Maximum potential volume reduction already achieved	日本国内の能登工場、滋賀プロダクトサプライセンター、奈良研究開発センターおよび中国蘇州工場の4施設の数値です。 汽水の地表水/海水への排水を実施している能登工場においては、生産工場の規模に大きな変動がなく、前期比での取水量があまり変化しませんでした。
Groundwater	Not relevant	<Not Applicable>	<Not Applicable>	<Not Applicable>	地下水への排水がないことを各拠点の担当者からの報告により本社事務局にて確認しています。このため、地下水への排水は行われておらず、当社に関連性はありません。
Third-party destinations	Relevant	257	Please select	Please select	日本国内の能登工場、滋賀プロダクトサプライセンター、奈良研究開発センターおよび中国蘇州工場の4施設の数値です。滋賀プロダクトサプライセンターにおいては2022年10月に新棟が竣工し、その立ち上げに伴う活動量が増加したため、排水量が増加しました。

W1.2j

(W1.2j) Within your direct operations, indicate the highest level(s) to which you treat your discharge.

	Relevance of treatment level to discharge	Volume (megaliters/year)	Comparison of treated volume with previous reporting year	Primary reason for comparison with previous reporting year	% of your sites/facilities/operations this volume applies to	Please explain
Tertiary treatment	Relevant	286	About the same	Maximum potential volume reduction already achieved	100%	日本国内の能登工場、滋賀プロダクトサプライセンター、奈良研究開発センターおよび中国蘇州工場の4施設の数値です。日本の法規制に基づく排出基準以下であることを確認・遵守し自然環境に排水してします。
Secondary treatment	Not relevant	<Not Applicable>	<Not Applicable>	<Not Applicable>	<Not Applicable>	日本および中国の法規制等に基づく処理を行っており、二次処理に該当する事業場はないことから関連性はありません。
Primary treatment only	Relevant	257	Much higher	Facility expansion	100%	日本国内の能登工場、滋賀プロダクトサプライセンター、奈良研究開発センターおよび中国蘇州工場の4施設の数値です。日本の法規制に基づく排出基準以下であることを確認・遵守し第三者に排水してします。
Discharge to the natural environment without treatment	Not relevant	<Not Applicable>	<Not Applicable>	<Not Applicable>	<Not Applicable>	排水処理を実施せずに自然環境へ直接排水している事業場は当社にないことから関連性はありません。
Discharge to a third party without treatment	Not relevant	<Not Applicable>	<Not Applicable>	<Not Applicable>	<Not Applicable>	排水処理を実施せずに第三者へ直接排水している事業場は当社にないことから関連性はありません。
Other	Not relevant	<Not Applicable>	<Not Applicable>	<Not Applicable>	<Not Applicable>	その他の処理を行った上で排水している事業場はないことから関連性はありません。

W1.2k

(W1.2k) Provide details of your organization's emissions of nitrates, phosphates, pesticides, and other priority substances to water in the reporting year.

	Emissions to water in the reporting year (metric tonnes)	Category(ies) of substances included	List the specific substances included	Please explain
Row 1	543	Nitrates Phosphates	<Not Applicable>	日本国内の能登工場、滋賀プロダクトサプライセンター、奈良研究開発センター、中国の蘇州工場の4施設全てで測定・モニタリングしています。 各事業場の管理担当者が、排水先ごとにサンプルを取り水質を検査します。検査結果の記録は月次で、各サイトの管理者へ報告されます。これらの月次報告を基に各サイトは環境法令、地域ごとの条例に抵触しないかを確認しています。

W1.3

(W1.3) Provide a figure for your organization's total water withdrawal efficiency.

	Revenue	Total water withdrawal volume (megaliters)	Total water withdrawal efficiency	Anticipated forward trend
Row 1	27903700000	612	455942810.457516	当社の主な製品は点眼剤であり、良質な水の確保を必要とします。製造工程でも法規制等で厳格に定められた品質・規格に適合させるために機器洗浄に一定の質と量の水を必要とします。滋賀プロダクトサプライセンターにおいては2022年10月に新棟が竣工し、その立ち上げに伴う活動量が増加したため、取水量が一時的に増加し、2022年度の生産数量原単位として14.7m3/万本であり、前年比11.7%増となりました。なお、その影響を控除した場合の生産数量原単位は13.5m3/万本であり、前年同程度となります。2030年度を目標年度とする中長期目標においても、現状維持の生産数量10万本あたりの水の取水量を12.4m3以下に設定し取組んでいます。

W1.4

(W1.4) Do any of your products contain substances classified as hazardous by a regulatory authority?

	Products contain hazardous substances	Comment
Row 1	No	

W1.5

(W1.5) Do you engage with your value chain on water-related issues?

	Engagement	Primary reason for no engagement	Please explain
Suppliers	Yes	<Not Applicable>	<Not Applicable>
Other value chain partners (e.g., customers)	Yes	<Not Applicable>	<Not Applicable>

W1.5a

(W1.5a) Do you assess your suppliers according to their impact on water security?

Row 1

Assessment of supplier impact

Yes, we assess the impact of our suppliers

Considered in assessment

Other, please specify (年に1回、水セキュリティへの影響を含む環境に対するサプライヤーの取り組み状況を確認する)

Number of suppliers identified as having a substantive impact

149

% of total suppliers identified as having a substantive impact

None

Please explain

事業に関連するすべてのサプライヤーに対して「サステナブル調達方針・ガイドライン」の順守を求めており、水セキュリティへの影響を含む環境に対する取り組みへのコミットを求め、そのうえでサプライヤーとの契約を締結しています。さらにその中で、事業にとって大きな影響を有するサプライヤー（一次サプライヤー及び主要な二次サプライヤー）を重要サプライヤーと位置づけ（149社）、直接調査票を配布して状況を確認し、定期的なサプライヤー評価を実施しています。水セキュリティへの影響への対応を含め、サプライヤーの同意と適切な是正・改善が行われることを、エンゲージメントの成功としています。重要サプライヤーにおいて、水ストレス地域での大規模操業や排水による環境汚染等のリスクが特に高いサプライヤーはなく、重要な影響を及ぼすと特定されたサプライヤーはないと認識しています。

W1.5b

(W1.5b) Do your suppliers have to meet water-related requirements as part of your organization's purchasing process?

	Suppliers have to meet specific water-related requirements	Comment
Row 1	Yes, water-related requirements are included in our supplier contracts	<Not Applicable>

W1.5c

(W1.5c) Provide details of the water-related requirements that suppliers have to meet as part of your organization's purchasing process, and the compliance measures in place.

Water-related requirement

Other, please specify (水セキュリティへの影響を含む環境に対する取り組みへのコミットを確認する)

% of suppliers with a substantive impact required to comply with this water-related requirement

100%

% of suppliers with a substantive impact in compliance with this water-related requirement

None

Mechanisms for monitoring compliance with this water-related requirement

Other, please specify (契約締結時に準拠について確認しています)

Response to supplier non-compliance with this water-related requirement

Other, please specify (適切な是正・改善を求めています)

Comment

事業に関連するすべてのサプライヤーに対して「サステナブル調達方針・ガイドライン」の順守を求めており、水セキュリティへの影響を含む環境に対する取り組みへのコミットを求め、そのうえでサプライヤーとの契約を締結しています。さらにその中で、事業にとって大きな影響を有するサプライヤーを重要サプライヤーと位置づけ、定期的なサプライヤー評価を実施しています。水セキュリティへの影響への対応を含め、サプライヤーの同意と適切な是正・改善が行われることを、エンゲージメントの成功としています。重要サプライヤーにおいて、水ストレス地域での大規模操業や排水による環境汚染等のリスクが特に高いサプライヤーはなく、重要な影響を及ぼすと特定されたサプライヤーはないと認識しています。

W1.5d

(W1.5d) Provide details of any other water-related supplier engagement activity.

W1.5e

(W1.5e) Provide details of any water-related engagement activity with customers or other value chain partners.

Type of stakeholder

Investors & shareholders

Type of engagement

Innovation & collaboration

Details of engagement

Encourage stakeholders to work collaboratively with other users in their river basins toward sustainable water management

Rationale for your engagement

森林の適切な保護は、二酸化炭素の吸収や生物多様性保全だけでなく豊かな自然と水源かん養力の維持につながり、水資源を育むものであると考えており、森林保護活動に取り組んでいます。主要事業所である能登工場では、地元自治体である宝達志水町の教育委員会が主催する森林保護活動、「宝達山の自然を守るための環境教育事業」に協賛しているとともに、滋賀プロダクトサプライセンターでは、滋賀県のNPO法人が主催する里山林整備や利用についての実技実習などを行うイベントに従業員が参加しています。（新型コロナウイルス感染症対策のため現在は参加を見合わせておりますが、感染対策などにより活動が再開されれば参加を検討します。）

Impact of the engagement and measures of success

森林保護活動を継続していくことで、製造所の所在するエリアの他の利用者と協力して、豊かな水源の維持が達成できることが成果となると認識しています。

W2. Business impacts

W2.1

(W2.1) Has your organization experienced any detrimental water-related impacts?

No

W2.2

(W2.2) In the reporting year, was your organization subject to any fines, enforcement orders, and/or other penalties for water-related regulatory violations?

	Water-related regulatory violations	Fines, enforcement orders, and/or other penalties	Comment
Row 1	No	<Not Applicable>	

W3. Procedures

W3.1

(W3.1) Does your organization identify and classify potential water pollutants associated with its activities that could have a detrimental impact on water ecosystems or human health?

	Identification and classification of potential water pollutants	How potential water pollutants are identified and classified	Please explain
Row 1	No, we do not identify and classify our potential water pollutants	<Not Applicable>	法規制及び製造所が所在する地域の公害防止協定に規定される水質汚染物質について評価・分析を実施したうえで排水を行っています。年間約2.5億本の製品を製造する能登工場では、製品となる水の量は総使用量の約0.4%に過ぎず、工場で使用される水の大部分は、点眼薬の原料水となる高純度な水を作る過程や、製品の調査・充填における洗浄や冷却などに使用されます。これらの過程において、潜在的水質汚染物質が発生・混入する排出する可能性は極めて低いため、特定・分類する必要性は低いと判断しています。

W3.3

(W3.3) Does your organization undertake a water-related risk assessment?

Yes, water-related risks are assessed

W3.3a

(W3.3a) Select the options that best describe your procedures for identifying and assessing water-related risks.

Value chain stage

Direct operations

Coverage

Full

Risk assessment procedure

Water risks are assessed as part of an established enterprise risk management framework

Frequency of assessment

Every two years

How far into the future are risks considered?

3 to 6 years

Type of tools and methods used

International methodologies and standards

Databases

Tools and methods used

Environmental Impact Assessment

ISO 14001 Environmental Management Standard

FAO/AQUASTAT

Contextual issues considered

Water availability at a basin/catchment level

Implications of water on your key commodities/raw materials

Water regulatory frameworks

Status of ecosystems and habitats

Access to fully-functioning, safely managed WASH services for all employees

Stakeholders considered

Customers

Employees

Investors

Local communities

Regulators

Suppliers

Water utilities at a local level

Comment

2050年に向けた環境ビジョン「Santen Vision for the Earth 2050」を策定し、気候変動対策と環境負荷低減に取り組んでいます。また、2022年6月に「気候関連財務情報開示タスクフォース（TCFD）」の提言への賛同を表明しました。気候変動がもたらす財務的影響を把握するため、気候変動に関するリスクと機会を特定し、シナリオ分析を行っており、危機管理委員会におけるBCP等で当社の事業継続に影響を及ぼすリスクを包括的に評価し、そのリスク評価項目に水リスクを設定しています。

具体的には、工場や研究所について、浸水・濁水のリスクを評価しました。

・各工場の立地付近には浸水の原因となる河川がないため、浸水リスクは低いと判断しました。

・濁水については、Aqueductで特定した各工場・研究所所在地の濁水リスクの程度と、当該拠点の現在および将来の水使用量および取水制限が発生した場合の機会損失（売上高への影響）を考慮して評価しました。その結果、製造設備がある能登工場（日本）、滋賀プロダクトサブライセンター（日本）、蘇州工場（中国）、アドバンスド・ビジョン・サイエンス・インク（米国）と研究施設のある奈良研究開発センター（日本）、サンテン・エス・エー・エス（フランス）について確認したところ、浸水・濁水が原因で財務に大きく影響するものはないと判断しました。

Value chain stage

Supply chain

Coverage

Full

Risk assessment procedure

Water risks are assessed as part of an established enterprise risk management framework

Frequency of assessment

Every two years

How far into the future are risks considered?

3 to 6 years

Type of tools and methods used

Other

Tools and methods used

Internal company methods

External consultants

Scenario analysis

Contextual issues considered

Water availability at a basin/catchment level

Implications of water on your key commodities/raw materials

Water regulatory frameworks

Status of ecosystems and habitats

Access to fully-functioning, safely managed WASH services for all employees

Stakeholders considered

Customers

Employees

Investors

Local communities

Regulators

Suppliers
Water utilities at a local level

Comment

2050年に向けた環境ビジョン「Santen Vision for the Earth 2050」を策定し、気候変動対策と環境負荷低減に取り組んでいます。また、2022年6月に「気候関連財務情報開示タスクフォース（TCFD）」の提言への賛同を表明しました。気候変動がもたらす財務的影響を把握するため、気候変動に関するリスクと機会を特定し、シナリオ分析を行っており、危機管理委員会におけるBCP等で当社の事業継続に影響を及ぼすサプライチェーンに関わるリスクを包括的に評価し、そのリスク評価項目に水リスクを設定しています。

具体的には、サプライチェーンにおける浸水・湧水リスクとして、原材料の調達や製品供給が滞ることなどを特定しました。

W3.3b

(W3.3b) Describe your organization's process for identifying, assessing, and responding to water-related risks within your direct operations and other stages of your value chain.

	Rationale for approach to risk assessment	Explanation of contextual issues considered	Explanation of stakeholders considered	Decision-making process for risk response
Row 1	Santenでは2050年に向けた環境ビジョン「Santen Vision for the Earth 2050」を策定し、気候変動対策と環境負荷低減に取り組んでいます。また、2022年6月に「気候関連財務情報開示タスクフォース（TCFD）」の提言への賛同を表明しました。水リスクについては、降雨パターンの変動による浸水・湧水の発生についてシナリオ分析を実施しました。特に点眼剤については自社の主要生産工場（能登工場、滋賀プロダクトサプライセンター、蘇州工場）でその大部分を製造していることから、それらをリスク評価の対象としました。また、浸水の可能性については立地調査、湧水の発生リスクはWRI Aqueductを用いてリスク評価を行い、発生可能性と機会損失（売上高の影響）を考慮して財務影響を算出し、30億円以上の影響があるものを財務影響「大」としています。	①各工場の立地と浸水の発生可能性について：製造設備がある能登工場、滋賀プロダクトサプライセンター、蘇州工場の立地について調査し、浸水の原因となり得る河川が存在していないことを確認し、そのリスクは低いと判断しました。 ②各工場の湧水の発生可能性について：WRI Aqueductを用いて各工場及び研究所の湧水リスクの程度と、当該拠点の現在および将来の水使用量および取水制限が発生した場合の機会損失について評価し、能登工場、滋賀プロダクトサプライセンター、蘇州工場、アドバンスド・ビジョン・サイエンス・インクと研究施設のある奈良研究開発センター、サンテン・エス・エー・エスにおける湧水リスクは低いことを確認しました。	BCPに基づき、事業継続に影響を及ぼす直接操業とサプライチェーンを中心に包括的に評価を行いました。	危機管理委員会においてリスクを包括的に評価しておりそのリスク評価項目に水リスクを設定しています。必要に応じてプロジェクトチームで想定したリスクに対して監視を行い対応策を検討します。 特にSantenの取水量の92.3%が生産施設（能登工場、滋賀プロダクトサプライセンター、蘇州工場）に由来するものであることから、基本理念 & サステナビリティグローバルヘッドとチーフプロダクトサプライオフィサーが、地球環境保全に関する施策の実行・推進に対する主たる責任を有しています。基本理念 & サステナビリティグローバルヘッドは、水セキュリティ課題に関する施策のモニタリング結果およびサステナビリティ推進部門が収集した潜在/顕在リスクをサステナビリティ委員会を介してCEOおよび取締役会に報告するとともに、社内のリスク管理委員会などにも迅速に報告・共有する責任を担い、必要に応じて経営判断と連携させ、グローバルレベルで対応します。

W4. Risks and opportunities

W4.1

(W4.1) Have you identified any inherent water-related risks with the potential to have a substantive financial or strategic impact on your business?

Yes, both in direct operations and the rest of our value chain

W4.1a

(W4.1a) How does your organization define substantive financial or strategic impact on your business?

当社の主力製品である点眼剤の製造には法で定められた規格に適合するため一定の量と質の水を必要とします。法に適合する必要な水が確保できず製品供給に支障をきたす場合は、売上収益等の財務面において当然ながら成長分野/地域への事業拡大など当社の事業戦略自体に影響を与えます。また当社施設からの排水が規制基準を順守できず環境汚染を引き起こした場合には、周辺地域への補償、およびブランドイメージ低下による売上収益の減少など財務面に影響を与えます。これらの事業/財務への影響を踏まえ、当社施設の立地地域では十分な量と良質の水資源に恵まれているか、および排水については法規制以上の対応が行われているかどうか実質的影響を与えるリスク要因と考えています。さらに高品質な製品を製造し社会に提供するにはサプライチェーンにおける原材料の調達先を始めとした取引先や業務委託先、その他操業における協力先などのパートナーが重要であることから、当社パートナーに関わる水関連問題も当社事業に影響を与えるリスク要因と考えています。

W4.1b

(W4.1b) What is the total number of facilities exposed to water risks with the potential to have a substantive financial or strategic impact on your business, and what proportion of your company-wide facilities does this represent?

	Total number of facilities exposed to water risk	% company-wide facilities this represents	Comment
Row 1	4	100	自社の水関連のリスクをもつ日本国内の能登工場、滋賀プロダクトサプライセンター、奈良研究開発センター、中国の蘇州工場の4施設で測定・モニタリングしており事業継続に影響を及ぼすリスクを包括的に評価し、対応しています。

W4.1c

(W4.1c) By river basin, what is the number and proportion of facilities exposed to water risks that could have a substantive financial or strategic impact on your business, and what is the potential business impact associated with those facilities?

Country/Area & River basin

Japan	Other, please specify (施設の近くに河川はありません。)
-------	---

Number of facilities exposed to water risk

0

% company-wide facilities this represents

Less than 1%

Production value for the metals & mining activities associated with these facilities

<Not Applicable>

% company's annual electricity generation that could be affected by these facilities

<Not Applicable>

% company's global oil & gas production volume that could be affected by these facilities

<Not Applicable>

% company's total global revenue that could be affected

Less than 1%

Comment

施設の近くに河川はありません。

W4.2

(W4.2) Provide details of identified risks in your direct operations with the potential to have a substantive financial or strategic impact on your business, and your response to those risks.

Country/Area & River basin

Japan	Other, please specify (施設の近くに大きな河川が存在しないことを確認しています。)
-------	--

Type of risk & Primary risk driver

Acute physical	Flood (coastal, fluvial, pluvial, groundwater)
----------------	--

Primary potential impact

Disruption to sales

Company-specific description

Situation: 降雨パターンの変化や気象パターンの極端な変動が生じた場合には、洪水による浸水や湧水が発生する可能性があります。その場合、工場の物理的な被害や工業用水の使用制限により、工場の稼働が困難となり、製品供給の停止や遅延が発生する可能性があります。さらに、交通機能への影響などによって、サプライチェーンの寸断なども発生することが考えられます。これらの影響によって、売上収益が減少することをリスクとしてとらえています。Santenはその生産本数の70%以上を能登工場および滋賀プロダクトサプライセンターの国内2工場で製造しており、局地的であったとしても特に西日本における自然災害は、Santenの事業全体に大きく影響を及ぼす可能性が考えられます。2007年に発生した能登半島地震による能登工場の建物一部損傷とサプライチェーンの寸断の1日当たりの影響は、当時の生産高の約1%に相当しましたので、洪水や土砂災害等の自然災害も、それと同程度の売上減少が生じる可能性があると考えられます。

Task: 自然災害発生時における事業継続計画 (BCP) の強化を進めるとともに、浸水・湧水のリスク評価を実施し、結果に応じて設備投資等を含む予防的対策を継続していく必要があると考えています。

Action&Result: 生産部門においては、継続してBCPを見直し、強化しています。リスク評価については、危機管理委員会において事業活動に関わるリスクを包括的に分析、評価し、事業の継続性に関わる影響を最小限に抑制する対策を講じています。ただし、能登工場および滋賀プロダクトサプライセンターについても評価を実施しましたが、浸水の原因となりうる河川が周囲に存在しないことから、その浸水リスクは低いものと判断しています。湧水についてもAqueductで特定した各工場・研究所所在地の湧水リスクの程度と、当該地点の現在および将来の水使用量および取水制限が発生した場合の機会損失を考慮して評価しました。結果として、能登工場、滋賀プロダクトサプライセンター、蘇州工場、アドバンスド・ビジョン・サイエンス・インクと研究施設のある奈良研究開発センター、サンテン・エス・エー・エスの湧水リスクが低いと判断されています。

Timeframe

More than 6 years

Magnitude of potential impact

Low

Likelihood

Very unlikely

Are you able to provide a potential financial impact figure?

Yes, an estimated range

Potential financial impact figure (currency)

<Not Applicable>

Potential financial impact figure - minimum (currency)

2500000000

Potential financial impact figure - maximum (currency)

17500000000

Explanation of financial impact

洪水による浸水や湧水が発生し、工場の物理的な被害や工業用水の使用制限やサプライチェーンの寸断が発生した場合の生産能力低下に起因した売上減少への影響額を損失として想定しました。2007年に発生した能登半島地震による能登工場の建物一部損傷とサプライチェーンの寸断においては、1日当たりの影響は当時の生産高の約1%に相当しましたので、それと同程度の売上減少が、1~7日間生じるものとして試算しています。

- ・ 一日あたりの売上高2,500,000,000円/日 (売上高の1%)
- ・ サプライチェーンの寸断が予想される日数1日~7日とすると
- ・ 2,500,000,000円/日×1日 = 2,500,000,000円、2,500,000,000円/日×7日 = 17,500,000,000

Primary response to risk

Amend the Business Continuity Plan

Description of response

BCPの見直しを継続的に進めるとともに、危機管理委員会において事業活動に関わるリスクを包括的に分析、評価し、事業の継続性に関わる影響を最小限に抑制する対策を講じています。

Cost of response

0

Explanation of cost of response

地学リスクや地震発生リスクも含めたリスク分散のため、別工場でも生産できる環境を整えるとともに原材料の複数購買を実施していますが、浸水および湧水のリスクは相対的に低いものであると評価されているため、リスク全体に占める浸水・湧水リスクの割合は小さいものとなっています。よって、本リスクに起因する対応費用は「0」と評価しています。

W4.2a

(W4.2a) Provide details of risks identified within your value chain (beyond direct operations) with the potential to have a substantive financial or strategic impact on your business, and your response to those risks.

Country/Area & River basin

Japan	Not known
-------	-----------

Stage of value chain

Supply chain

Type of risk & Primary risk driver

Acute physical	Flood (coastal, fluvial, pluvial, groundwater)
----------------	--

Primary potential impact

Disruption to sales due to value chain disrruption

Company-specific description

Situation: 降雨パターンの変化や気象パターンの極端な変動が生じた場合には、洪水による浸水や湧水が発生する可能性があります。その場合、工場の物理的な被害や工業用水の使用制限により、工場の稼働が困難となり、製品供給の停止や遅延が発生する可能性があります。さらに、交通機能への影響などによって、サプライチェーンの寸断なども発生することが考えられます。これらの影響によって、売上収益が減少することをリスクとしてとらえています。Santenはその生産本数の70%以上を能登工場および滋賀プロダクトサプライセンターの国内2工場で製造しており、局地的であったとしても特に西日本における自然災害は、Santenの事業全体に大きく影響を及ぼす可能性が考えられます。2007年に発生した能登半島地震による能登工場の建物一部損傷とサプライチェーンの寸断の1日当たりの影響は、当時の生産高の約1%に相当しましたので、洪水や土砂災害等の自然災害も、それと同程度の売上減少が生じる可能性があると考えられます。

Task: 自然災害発生時における事業継続計画（BCP）の強化を進めるとともに、浸水・湧水のリスク評価を実施し、結果に応じて設備投資等を含む予防的対策を継続していく必要があると考えています。

Action&Result: 生産部門においては、継続してBCPを見直し、強化しています。リスク評価については、危機管理委員会において事業活動に関わるリスクを包括的に分析、評価し、事業の継続性に関わる影響を最小限に抑制する対策を講じています。ただし、能登工場および滋賀プロダクトサプライセンターについても評価を実施しましたが、浸水の原因となりうる河川が周囲に存在しないことから、その浸水リスクは低いものと判断しています。湧水についてもAqueductで特定した各工場・研究所所在地の湧水リスクの程度と、当該拠点の現在および将来の水使用量および取水制限が発生した場合の機会損失を考慮して評価しました。結果として、能登工場、滋賀プロダクトサプライセンター、蘇州工場、アドバンスド・ビジョン・サイエンス・インクと研究施設のある奈良研究開発センター、サンテン・エス・エー・エスの湧水リスクが低いと判断されています。

Timeframe

More than 6 years

Magnitude of potential impact

Low

Likelihood

Very unlikely

Are you able to provide a potential financial impact figure?

Yes, an estimated range

Potential financial impact figure (currency)

<Not Applicable>

Potential financial impact figure - minimum (currency)

2500000000

Potential financial impact figure - maximum (currency)

17500000000

Explanation of financial impact

洪水による浸水や湧水が発生し、工場の物理的な被害や工業用水の使用制限やサプライチェーンの寸断が発生した場合の生産能力低下に起因した売上減少への影響額を損失として想定しました。2007年に発生した能登半島地震による能登工場の建物一部損傷とサプライチェーンの寸断においては、1日当たりの影響は当時の生産高の約1%に相当しましたので、それと同程度の売上減少が、1~7日間生じるものとして試算しています。

- ・一日あたりの売上高2,500,000,000円/日（売上高の1%）
- ・サプライチェーンの寸断が予想される日数1日~7日とすると
- ・2,500,000,000円/日×1日 = 2,500,000,000円、2,500,000,000円/日×7日 = 17,500,000,000

Primary response to risk

Direct operations	Include in Business Continuity Plan
-------------------	-------------------------------------

Description of response

BCPの見直しを継続的に進めるとともに、危機管理委員会において事業活動に関わるリスクを包括的に分析、評価し、事業の継続性に関わる影響を最小限に抑制する対策を講じています。

Cost of response

0

Explanation of cost of response

地学リスクや地震発生リスクも含めたリスク分散のため、別工場でも生産できる環境を整えるとともに原材料の複数購買を実施していますが、浸水および湧水のリスクは相対的に低いものであると評価されているため、リスク全体に占める浸水・湧水リスクの割合は小さいものとなっています。よって、本リスクに起因する対応費用は「0」と評価しています。

(W4.3) Have you identified any water-related opportunities with the potential to have a substantive financial or strategic impact on your business?

Yes, we have identified opportunities, and some/all are being realized

W4.3a

(W4.3a) Provide details of opportunities currently being realized that could have a substantive financial or strategic impact on your business.

Type of opportunity

Products and services

Primary water-related opportunity

Increased sales of existing products/services

Company-specific description & strategy to realize opportunity

気候変動の影響による洪水降雨パターンの変動は、細菌・ウイルス・寄生虫・真菌類とこれらを媒介する生物の出現パターンに影響を与え、公衆衛生水準の低い地域が拡大し、医薬品の需要や必要性を増させる可能性があります。Santenは、特に中国・アジアにおいて眼感染症治療剤を主力製品としており、中国市場での売上の30% (63億円)、アジア市場での売上の10% (24億円) を占めています。また、長期にわたり、継続してその各国において眼感染症治療をリードするKOL (キーオピニオンリーダー) との強いネットワークを築いており、十分なプレゼンスを有しています。水害等による衛生水準の悪化によって、眼感染症の発症が拡大した場合には、本領域において強みをもつSantenは、その需要に対する製品製造や供給体制の構築に迅速に対応することで、売上を増加させる機会があると考えます。

Estimated timeframe for realization

More than 6 years

Magnitude of potential financial impact

Unknown

Are you able to provide a potential financial impact figure?

No, we do not have this figure

Potential financial impact figure (currency)

<Not Applicable>

Potential financial impact figure – minimum (currency)

<Not Applicable>

Potential financial impact figure – maximum (currency)

<Not Applicable>

Explanation of financial impact

地域、国別の状況リサーチを進め、製品の需要拡大が見込める地域、国の医療ニーズ、患者ニーズを的確に把握しニーズにマッチした製品の開発につなげていきますが、具体的な金額の算定には至っていません。

W6. Governance

W6.1

(W6.1) Does your organization have a water policy?

Yes, we have a documented water policy that is publicly available

W6.1a

(W6.1a) Select the options that best describe the scope and content of your water policy.

	Scope	Content	Please explain
Row 1	Company-wide	Description of the scope (including value chain stages) covered by the policy Commitment to prevent, minimize, and control pollution Commitment to reduce water withdrawal and/or consumption volumes in direct operations Commitments beyond regulatory compliance Recognition of environmental linkages, for example, due to climate change	当社のサステナビリティ方針に「公正かつ透明性の高い経営を実現し、人権や労働、地球環境保全に配慮した事業活動を推進する」を定めており、グローバルに環境保全を推進するためのSantenグループ環境保全方針では「環境汚染の防止と負荷の低減」として「水資源の保護および効率的な利用を推進する」を謳っています。加えて、施設別には、工場の環境方針に水資源を大切にし水使用量削減を推進することを定めています。また、「国連グローバル・コンパクト」に署名し、環境に関する原則(7,8,9)を支持・実践することにより持続可能な社会の発展に向けた取り組みを推進していくこと、およびSDGsの達成に貢献していく旨を宣言しホームページ上で公表しています。また、2050年に向けた環境ビジョン「Santen Vision for the Earth 2050」を策定し、気候変動対策と環境負荷低減に取り組んでおり、2022年6月に「気候関連財務情報開示タスクフォース(TCFD)」の提言への賛同を表明しました。 TCFD提言に基づく情報開示_Santen(参天製薬)グローバルサイト.pdf 国連グローバル・コンパクトへの参加_Santen(参天製薬)グローバルサイト.pdf 環境への取り組み_Santen(参天製薬)グローバルサイト.pdf

W6.2

(W6.2) Is there board level oversight of water-related issues within your organization?

Yes

W6.2a

(W6.2a) Identify the position(s) (do not include any names) of the individual(s) on the board with responsibility for water-related issues.

Position of individual or committee	Responsibilities for water-related issues
Chief Executive Officer (CEO)	スキルマトリックスに記載が可能なレベルでの専門性を持った取締役はいませんが、専門性を持つ執行役員が補佐する形で代表取締役CEOがその判断を担っています。環境保全を含むサステナビリティ活動に関するグループ全体の方針・目標・KPI設定とともに活動推進状況のモニタリングを行う会議体として代表取締役社長兼CEOを委員長とするサステナビリティ委員会(メンバーは執行役員)を設置しています。本委員会において気候関連問題や水関連問題など環境保全活動(環境負荷を低減するための地球温暖化防止、資源の保護・有効活用、廃棄物排出削減、大気汚染の防止、水質汚濁の防止など)についてグローバルマネジメントレベルで議論しCEOが意思決定を行い、戦略等の重要事項に関しては取締役会に上程し、意思決定を促進する責任を有しています。2022年には、TCFDへの賛同に際してリスクシナリオに関する議論等を行い、取締役会での承認を経て、2022年6月に開示しました。

W6.2b

(W6.2b) Provide further details on the board's oversight of water-related issues.

	Frequency that water-related issues are a scheduled agenda item	Governance mechanisms into which water-related issues are integrated	Please explain
Row 1	Scheduled - some meetings	Monitoring implementation and performance Reviewing and guiding annual budgets Reviewing and guiding business plans Reviewing and guiding corporate responsibility strategy Reviewing and guiding major plans of action Reviewing and guiding risk management policies Reviewing and guiding strategy Setting performance objectives	水セキュリティ関連の問題が生じた場合には、社長を委員長とするサステナビリティ委員会において以下の監督・指導がなされます。①目標の設定および活動計画の審査、進捗状況のモニタリングと指導、②戦略および投資・費用予算の審査と指導。これらの活動については必要に応じて、管掌の執行役員および社長から取締役会に報告されます。

W6.2d

(W6.2d) Does your organization have at least one board member with competence on water-related issues?

	Board member(s) have competence on water-related issues	Criteria used to assess competence of board member(s) on water-related issues	Primary reason for no board-level competence on water-related issues	Explain why your organization does not have at least one board member with competence on water-related issues and any plans to address board-level competence in the future
Row 1	No, but we plan to address this within the next two years	<Not Applicable>	Important but not an immediate priority	現時点では、スキルマトリックスに記載可能なレベルでの専門性を持った人材を取締役として選定することが困難であるとともに、専門性を持つ執行役員が補佐する形で、実効性のある議論を実施することができていると考えているため、差し迫った優先事項ではないと考えています。

W6.3

(W6.3) Provide the highest management-level position(s) or committee(s) with responsibility for water-related issues (do not include the names of individuals).

Name of the position(s) and/or committee(s)

Chief Sustainability Officer (CSO)

Water-related responsibilities of this position

- Assessing water-related risks and opportunities
- Managing water-related risks and opportunities
- Conducting water-related scenario analysis
- Monitoring progress against water-related corporate targets
- Providing water-related employee incentives

Frequency of reporting to the board on water-related issues

Annually

Please explain

呼称はCxOではありませんが、基本理念 & サステナビリティグローバルヘッドとして、執行役員1名が任命されており、CEOへのレポートを実施しています。さらに、SantenのCO2排出量の78.1%、取水量の92.3%が生産施設（能登工場、滋賀プロダクトサプライセンター、蘇州工場）に由来するものであることから、同じく執行役員であるチーフプロダクトサプライオフィサーが、地球環境保全に関する施策の実行・推進に対する主たる責任を有しています。本責任者は、代表取締役社長兼CEOを委員長とし各事業部長および本部長が参画するサステナビリティ委員会での議案について上程準備するとともに、決定された水セキュリティ課題への取り組みについて、チーフプロダクトサプライオフィサーと協働して、サステナビリティ推進部門と工場・研究所の施設長および各施設責任者や各組織長を通じ施設・オフィスレベルでの実践・浸透を推進していく役割を担います。また、水セキュリティ課題に関する施策のモニタリング結果をサステナビリティ委員会を介してCEOおよび取締役会に報告するとともに、社内のリスク管理委員会などにも迅速に報告・共有し、経営判断と連携させていく役割を担います。さらに、各国・各施設の環境担当部署・担当者とサステナビリティ推進部門との連携を管理しています。サステナビリティ推進部門においては、各環境担当部署・担当者が各施設の現場における実践活動をモニタリングするとともに潜在/顕在リスク事象を取集しており、サステナビリティ担当執行役員は、当該報告に関してチーフプロダクトサプライオフィサーおよびサステナビリティ委員会への共有と、必要に応じたグローバルレベルでの対応に責任を有しています。

Name of the position(s) and/or committee(s)

Sustainability committee

Water-related responsibilities of this position

- Assessing water-related risks and opportunities
- Managing water-related risks and opportunities
- Conducting water-related scenario analysis
- Monitoring progress against water-related corporate targets
- Providing water-related employee incentives

Frequency of reporting to the board on water-related issues

Annually

Please explain

サステナビリティ委員会は代表取締役社長兼CEOを委員長とし、各事業部長および本部長が参画しており、サステナビリティに関するグループ全体の方針や目標の審議と具体的な取り組みの推進・モニタリングを担っています。特に水セキュリティ課題への取り組みは経営判断が必要な重要課題と位置づけており、それに対応する戦略や施策を決定するとともに、その実施管理に対する責任を負っています。審議された事項について、特にグループ経営戦略に関わる項目は、経営会議に提案に承認を得ることとし、重要な案件については取締役会へ上程しています。決定事項等は、サステナビリティ担当執行役員および生産本部を統括する執行役員の責任のもと、サステナビリティ推進部門と工場・研究所の施設長および各施設責任者や各組織長を通じて、各施設・オフィスに周知徹底されます。また、サステナビリティ委員会では、モニタリング結果の報告を受けてその戦略や施策の見直しを実施しており、その結果が随時各国・各施設の環境担当部署・担当者とサステナビリティ推進部門とにフィードバックされることによって、各種対策を推し進めています。

W6.4

(W6.4) Do you provide incentives to C-suite employees or board members for the management of water-related issues?

	Provide incentives for management of water-related issues	Comment
Row 1	Yes	役員報酬における中長期インセンティブにおいては、PSU制度の比重の20%がESG目標となっています。DJSIのスコア向上がその指標となっており、評価ポイントに応じて評価が変わる構造となっています。執行役員についても同様のインセンティブ体系となっています。

W6.4a

(W6.4a) What incentives are provided to C-suite employees or board members for the management of water-related issues (do not include the names of individuals)?

	Role(s) entitled to incentive	Performance indicator	Contribution of incentives to the achievement of your organization's water commitments	Please explain
Monetary reward	Board chair Board/Executive board Director on board Chief Executive Officer (CEO)	Please select	役員報酬における中長期インセンティブにおいては、PSU制度の比重の20%がESG目標となっています。DJSIのスコア向上がその指標となっており、評価ポイントに応じて評価が変わる構造となっています。執行役員についても同様のインセンティブ体系となっています。	
Non-monetary reward	Please select	Please select		

W6.5

(W6.5) Do you engage in activities that could either directly or indirectly influence public policy on water through any of the following?

Yes, trade associations

W6.5a

(W6.5a) What processes do you have in place to ensure that all of your direct and indirect activities seeking to influence policy are consistent with your water policy/water commitments?

当社は日本政府にも影響力を持つ日本経団連下の日本製薬団体連合会の会員であり、本連合会が運営する環境委員会に参加し連携して環境活動を行っています。業界団体活動において収集した方針・考え方、水資源の有効活用や水関連問題への対応の情報を当社の環境保全活動に責任を負うCSR委員会に適宜提供・共有するとともに、定期開催する本委員会を通じて、工場・研究所の施設長から排水基準等水関連規制への対応や水資源の有効活用等について確認し、適宜本連合会の環境委員会活動において共有し意見交換しています。また、政府が水に関する規制案を策定しパブリックコメントに供した場合には、日本経団連は傘下の業界団体（当社所属の日本製薬団体連合会含む）への聞き取り調査を行い政府に意見書を提出しています。

W6.6

(W6.6) Did your organization include information about its response to water-related risks in its most recent mainstream financial report?

Yes (you may attach the report - this is optional)

2023年3月期_有価証券報告書_Santen.pdf

W7. Business strategy

W7.1

(W7.1) Are water-related issues integrated into any aspects of your long-term strategic business plan, and if so how?

	Are water-related issues integrated?	Long-term time horizon (years)	Please explain
Long-term business objectives	Yes, water-related issues are integrated	> 30	点眼薬の製造および販売が当社の主な事業です。原材料のほとんどが「水」から作られており、最も必要な自然資本といえます。よって、この重要な資本を適切に管理していくことが、人々の目の健康に寄与するという当社の事業目的にとって非常に重要であると認識しております。
Strategy for achieving long-term objectives	Yes, water-related issues are integrated	> 30	現在の施設立地地域では十分な量と良質の水資源に恵まれており、また排水については法規制以上の対応を行っているため、現時点では水関連問題が事業に与える影響は小さいものの、当社の主要製品である点眼薬にとって命である水資源の保全は重要であることから、2050年に向けた環境ビジョン「Santen Vision for the Earth 2050」を策定し、その中に組み込んでいます。なお、取水量の増加リスクについても同2050年に向けた環境ビジョン「Santen Vision for the Earth 2050」に含んでいます。また、2022年6月に「気候関連財務情報開示タスクフォース（TCFD）」の提言への賛同を表明しています。この中で気候変動に伴う洪水や渇水のリスク等についても検証を行いました。
Financial planning	Yes, water-related issues are integrated	> 30	現在の施設立地地域では十分な量と良質の水資源に恵まれており、また排水については法規制以上の対応を行っているため、現時点では水関連問題が事業に与える影響は小さいものの、当社の主要製品である点眼薬にとって命である水資源の保全は重要であることから、2050年に向けた環境ビジョン「Santen Vision for the Earth 2050」を策定し、取水量原単位の維持に取り組みことを組み込みました。しかし、財務計画には大きな影響を及ぼさないことが確認されています。

W7.2

(W7.2) What is the trend in your organization's water-related capital expenditure (CAPEX) and operating expenditure (OPEX) for the reporting year, and the anticipated trend for the next reporting year?

Row 1

Water-related CAPEX (+/- % change)

3600000

Anticipated forward trend for CAPEX (+/- % change)

0

Water-related OPEX (+/- % change)

23000000

Anticipated forward trend for OPEX (+/- % change)

0

Please explain

水関連の設備投資および操業費は、一定水準で維持されており、次年度も同水準になると推測しています。

W7.3

(W7.3) Does your organization use scenario analysis to inform its business strategy?

	Use of scenario analysis	Comment
Row 1	Yes	現在の施設立地地域では水ストレスは低いものの、例えば今後、新興市場/発展途上国での需要拡大に対応するために低生産コストの新工場建設を計画する際、世界共通目標である気温上昇2°C未満に抑えることができず地球温暖化が急速に進行し内陸部等で降水量減少・干ばつにより水源が枯渇した場合、十分な量と良質な水の条件を満たす立地場所の選定に影響を与える可能性があります。さらに既存の施設立地地域においても大規模台風や豪雨等の大規模災害によりサプライチェーンが寸断され事業継続性に影響を与える物理的リスクもあり、気候関連問題の情報分析を行ったうえで、水リスク評価を事業計画に反映させています。また、2022年6月に「気候関連財務情報開示タスクフォース (TCFD)」の提言への賛同を表明し、リスクシナリオについて公表しております。

W7.3a

(W7.3a) Provide details of the scenario analysis, what water-related outcomes were identified, and how they have influenced your organization's business strategy.

	Type of scenario analysis used	Parameters, assumptions, analytical choices	Description of possible water-related outcomes	Influence on business strategy
Row 1	Water-related Climate-related Socioeconomic	施設の近隣に大きな河川が無いことから洪水・浸水リスクは低いと想定しました。一方で湧水による水の供給不足を想定しました。取水制限等が一定期間行われた場合の生産量の減少や原材料の供給に支障があった場合は、売上に影響を与えることと仮定しています。	原材料の供給不足等により、生産できない状況が、1~7日と想定しました。	生産高への影響度から生産能力低下に起因した売上減少（1~7日）への影響額を損失として試算しました。 (一日あたりの売上高2,500,000,000円/日（売上高の1%）、サプライチェーンの寸断が予想される日数1日~7日あたり、2,500,000,000円/日×1日=2,500,000,000円、2,500,000,000円/日×7日=17,500,000,000)

W7.4

(W7.4) Does your company use an internal price on water?

Row 1

Does your company use an internal price on water?

No, but we are currently exploring water valuation practices

Please explain

現在の施設立地地域では十分な量と良質の水資源に恵まれていることから、現時点では水関連問題が事業に与える影響は小さいため、社内ウォータープライシング（内部的価格付け）導入については、他案件にかかる優先順位と調整のうえ、対応を検討している段階です。

W7.5

(W7.5) Do you classify any of your current products and/or services as low water impact?

	Products and/or services classified as low water impact	Definition used to classify low water impact	Primary reason for not classifying any of your current products and/or services as low water impact	Please explain
Row 1	Yes	自社工場（能登工場、滋賀プロダクトサプライセンター、蘇州工場）において製造している製品	<Not Applicable>	当社の主な製品は点眼剤であり、良質な水の確保を必要としています。また、製造工程でも法規制等で厳格に定められた品質・規格に適合させるために機器洗浄に一定の質と量の水を必要とします。さらに製造現場においても法規制で定められた室温・温度に保つために一定の冷却水を必要としています。各工場および製造工程開発においては、再利用を含めて水資源を効率的に活用できるようなプロセス改善を進めており、製造方法が自社開発された製品や、自社工場において製造している製品は、水資源への影響を最小限としたものとなっています。

W8. Targets

W8.1

(W8.1) Do you have any water-related targets?

Yes

W8.1a

(W8.1a) Indicate whether you have targets relating to water pollution, water withdrawals, WASH, or other water-related categories.

	Target set in this category	Please explain
Water pollution	Yes	<Not Applicable>
Water withdrawals	Yes	<Not Applicable>
Water, Sanitation, and Hygiene (WASH) services	No, and we do not plan to within the next two years	
Other	Please select	<Not Applicable>

W8.1b

(W8.1b) Provide details of your water-related targets and the progress made.

Target reference number

Target 1

Category of target

Water withdrawals

Target coverage

Company-wide (direct operations only)

Quantitative metric

Reduction in withdrawals per unit of production

Year target was set

2019

Base year

2019

Base year figure

12.4

Target year

2030

Target year figure

12.4

Reporting year figure

14.7

% of target achieved relative to base year

<Calculated field>

Target status in reporting year

Underway

Please explain

基準年度（2019年実績）：12.4m3/万本ですが、2022年実績：14.7m3/万本となりました。これは滋賀プロダクトサプライセンターにおいて2022年10月に新棟が竣工し、その立ち上げに伴う活動量（生産本数への反映を伴わない工場稼働時間）が増加したため、取水量が増加したことに起因します。この影響を控除した場合には、生産単位あたりの取水量は13.5m3/万本であり前年同程度となります。

Target reference number

Target 2

Category of target

Water pollution

Target coverage

Site/facility

Quantitative metric

Reduction in concentration of pollutants

Year target was set

2022

Base year

Base year figure

Target year

Target year figure

Reporting year figure

% of target achieved relative to base year

<Calculated field>

Target status in reporting year

Underway

Please explain

各事業所が所在する自治体の協定に基づき、特にBOD（生物化学的酸素要求量）、COD（化学的酸素要求量）、SS（浮遊物質）について、協定に定める基準値以下なることを定期的に確認しています。

W9. Verification

W9.1

(W9.1) Do you verify any other water information reported in your CDP disclosure (not already covered by W5.1a)?

No, but we are actively considering verifying within the next two years

W10. Plastics

W10.1

(W10.1) Have you mapped where in your value chain plastics are used and/or produced?

	Plastics mapping	Value chain stage	Please explain
Row 1	Yes	Direct operations Product use phase	Santenの売上の93.3%は医療用医薬品に由来しており、大部分は点眼剤です。そのほぼ100%にプラスチック容器を使用しており、プラスチックは材料投入量として3,537トン、投入量全体の70.2%を占めています。また、包装材などにもプラスチックフィルム等が使用されており、それらは容器リサイクル法に基づき、医療機関や患者さんなどの顧客によって、廃棄・リサイクルされることを確認しています。

W10.2

(W10.2) Across your value chain, have you assessed the potential environmental and human health impacts of your use and/or production of plastics?

	Impact assessment	Value chain stage	Please explain
Row 1	Yes	Direct operations	

W10.3

(W10.3) Across your value chain, are you exposed to plastics-related risks with the potential to have a substantive financial or strategic impact on your business? If so, provide details.

	Risk exposure	Value chain stage	Type of risk	Please explain
Row 1	Yes	Direct operations	Regulatory	点眼剤ボトルは、医薬品の品質維持や患者の治療継続性に大きく影響するため、経口剤のPTPシートのようにその素材をプラスチック以外のもの（アルミや紙のもの）に切り替えることは困難です。よって、バイオマスプラスチックへの切り替えを行うことが最も合理的と考えています。一方で、バイオマスプラスチックは世界的な関心も高く、医薬品産業以外でも多くの企業が導入を検討しているため、その導入義務化や規制化が進むことによって、需給バランスが影響を受け、容器包装材の調達費用が増加するリスクがあると考えています。

W10.4

(W10.4) Do you have plastics-related targets, and if so what type?

	Targets in place	Target type	Target metric	Please explain
Row 1	Yes	Plastic packaging	Eliminate problematic and unnecessary plastic packaging Other, please specify (バイオマスプラスチックの利用)	Santen Vision for the Earth 2050のもと、減プラ・換プラ・脱プラの徹底に努めています。包装材・梱包材のプラスチック材料については、2019年度比で、2030年に15%削減との目標を設定しています。また、バイオマスプラスチック容器について、2030年には60%以上においてその切り替えを完了させるという目標をおき、製品ごとに具体的な実施計画を策定・検討しています。

W10.5

(W10.5) Indicate whether your organization engages in the following activities.

	Activity applies	Comment
Production of plastic polymers	No	
Production of durable plastic components	No	
Production / commercialization of durable plastic goods (including mixed materials)	No	
Production / commercialization of plastic packaging	No	
Production of goods packaged in plastics	Yes	Santenの売上の93.3%は医療用医薬品に由来しており、大部分は点眼剤です。そのほぼ100%にプラスチック容器を使用しており、プラスチックは材料投入量として3,537トン、投入量全体の70.2%を占めています。また、包装材などにもプラスチックフィルム等が使用されており、それらは医療機関や患者さんなどの顧客によって、廃棄・リサイクルされています。当社は容器リサイクル法に基づき、容器包装リサイクル法に基づいて指定法人にリサイクルを委託してその費用を負担しています。
Provision / commercialization of services or goods that use plastic packaging (e.g., retail and food services)	No	

W10.8

(W10.8) Provide the total weight of plastic packaging sold and/or used, and indicate the raw material content.

	Total weight of plastic packaging sold / used during the reporting year (Metric tonnes)	Raw material content percentages available to report	% virgin fossil-based content	% virgin renewable content	% post-industrial recycled content	% post-consumer recycled content	Please explain
Plastic packaging sold	<Not Applicable>	<Not Applicable>	<Not Applicable>	<Not Applicable>	<Not Applicable>	<Not Applicable>	<Not Applicable>
Plastic packaging used	3537	% virgin renewable content % post-industrial recycled content % post-consumer recycled content	<Not Applicable>		99.9	33.2	Santen Vision for the Earth 2050のもと、継続的な分別の徹底による有価物化とリサイクルの促進しており、製造工程において発生する廃プラスチックのほぼすべてがリサイクルされています。また、既存の容器のバイオマスプラスチック化も進めており、2023年3月時点で、12品目において切り替えが完了しました。2030年には60%以上においてその切り替えを完了させるという目標をおき、製品ごとに具体的な実施計画を策定・検討しています。また、国内で医薬品の包装に使用されるプラスチックについては、容器包装リサイクル法に基づいて指定法人にリサイクルを委託してその費用を負担しており、その対象は1,174トンです。

W10.8a

(W10.8a) Indicate the circularity potential of the plastic packaging you sold and/or used.

	Percentages available to report for circularity potential	% of plastic packaging that is reusable	% of plastic packaging that is technically recyclable	% of plastic packaging that is recyclable in practice at scale	Please explain
Plastic packaging sold	<Not Applicable>	<Not Applicable>	<Not Applicable>	<Not Applicable>	<Not Applicable>
Plastic packaging used	% technically recyclable	<Not Applicable>	79.4	<Not Applicable>	生産工程における廃プラスチックリサイクル量 ha 1,636トンであり、容器包装リサイクル法の対象となるプラスチック包装量は1,174トンであり、それらがプラスチック原料投入量 (3,537トン) に占める割合として79.4%としました。なお、容器包装リサイクル法は海外での販売製品を対象としていませんが、日本国外においても同様にプラスチック包装のリサイクルを推進しています。

W11. Sign off

W-FI

(W-FI) Use this field to provide any additional information or context that you feel is relevant to your organization's response. Please note that this field is optional and is not scored.

W11.1

(W11.1) Provide details for the person that has signed off (approved) your CDP water response.

	Job title	Corresponding job category
Row 1	基本理念 & サステナビリティ グローバルヘッド	Chief Sustainability Officer (CSO)

Submit your response

In which language are you submitting your response?

Japanese

Please confirm how your response should be handled by CDP

	I understand that my response will be shared with all requesting stakeholders	Response permission
Please select your submission options	Yes	Public

Please indicate your consent for CDP to share contact details with the Pacific Institute to support content for its Water Action Hub website.

Yes, CDP may share our Main User contact details with the Pacific Institute

Please confirm below

I have read and accept the applicable Terms